

キャンパック丁字路が十字路に！

いよいよキャンパック丁字路が十字路になります。土地の買収と予算取りが完了し、来年3月の完成に向けて急ピッチで工事が進みます。川俣駅から見て西にある国道122号バイパスを渉り、日興リカの北側をかすめて右にカーブするとキャンパック丁字路に当たります。これにより町の中心部から、あるいは国道122号バイパスから工業団地へのアクセスが便利になります。

また、千代田町との経済創生連携協定を結び、道路についても千代田町とともに経済活動広域軸の整備を推進します。千代田町内を西へ貫通する道路を千代田町が整備し、二町の産業団地・商業施設と「国道122号バイパス」「東北自動車道 館林IC」「東武伊勢崎線 川俣駅」「利根川赤岩新橋関連道路」とが機能的に結節する都市軸を整備します。

また、これ1本では混雑が予想されますので明和町ではアドバンテスト北側の道路を東に延ばし、入ヶ谷地区の南側を通り左にカーブしながら矢島の農面道路の大カーブに結ぶ

道路（工業団地線北回り）を通します。また、昭和ドライブイン跡地の北側を西に延びる道路を真っ直ぐ西に伸ばし、新しくできる工業団地の南側にも122号バイパスにつながる道路を建設して行きます。

これにより、明和町と千代田町の工業団地へのアクセスがグンと良くなり、二町への優良企業進出に拍車がかかります。この地域に雇用が生まれ、Uターン・Iターン・孫ターン(注1)を促進出来れば最高です。

人は、働くところ・住むところ・買い物できるところ・食事出来るところ・医療施設等が無ければ集まらないでしょう。「明和町をそのレベルにするには、まだまだ時間がかかる話になってしまうな」とは思いますが、1歩1歩前進しております。皆さん、これからの明和町にご期待下さい！

平成29年10月2日

明和町長

富塚もとすけ

(注1) Uターン・Iターン・孫ターン

Uターン：一度生まれ育った場所以外で勤務したのちに、再び出身地に戻って働くこと。

Iターン：生まれ育った場所で勤務した後、出身地以外の場所に移住して働くこと。

孫ターン：都市部の子育て世代(20～40代)が、自分たちの親あるいは祖父母のいる地方(地元)に移住すること。